

初期近代イギリス演劇研究

研究者プロフィール

- ・文学部 英文学科 教授 石橋敬太郎
- ・専門分野 英文学
- ・研究分野 初期近代イギリス演劇
- ・所属学会 日本英文学会、日本シェイクスピア協会
- ・主な研究業績

著書:『シェイクスピアの英国史劇』(2000年、金星堂)、『シェイクスピアとその時代を読む』共著(2007年、研究社)、『シェイクスピア時代の演劇世界』共著(2015年、九州大学出版会)。

学術論文:「Perkin Warbeckにおける詩的世界」(英文学研究、84巻、2007)、「摂理主義からの脱却—The Massacre at Parisにおける新たな歴史編纂について—」(英文学研究支部統合号、3巻、2010)、「『エドワード三世』における騎士道精神とその時代性」(Shakespeare News, 2013)、「Bussy D'Amboisにおける自然と人間」(英文学研究支部統合号、6巻、2014)など。

研究内容

初期近代イングランドで執筆・上演された演劇作品を当時の思想、政治や経済などの文脈に位置づけて、「歴史実証主義的立場」から現存する公文書やパンフレットなど有力な歴史的基礎資料を駆使して分析し、その表象を通して伝達されるイングランドの実際を時系列的に解明することである。主な研究内容は次の通りである。

- ①シェイクスピアの英国史劇研究
- ②初期近代イングランドの歴史観と自然観に関する研究
- ③イスラーム世界を題材とした演劇研究

関連キーワード

初期近代イギリス演劇、歴史観、自然観、イスラーム世界

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他

初期近代イギリス演劇の主なテーマ

- ・当時の宇宙観から導き出された家父長制度の維持・強化
- ・キリスト教ヨーロッパとイスラーム世界との接触と紛争の舞台化

⇒地球規模で展開する国際化と異文化理解の一助

研究者への連絡先

産学連携推進センター

E-mail scenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122